たんぽぽだより

2026.9
姶良市立加治木幼稚園
Tel:62－2502
Fax:62－2524

○○の秋！

加治木幼稚園長　川畑　敏彦

子供たちは今、運動会に向けて一生懸命練習しています。2学期は様々な活動が計画されており、その一つ一つに活動のねらいがあります。そのねらいを達成することが、子供の成長につながっていくものと考えています。家庭でも様々な取組を通して子供たちが少しずつ成長していることを見つけ、認め、励ましの声かけをよろしくお願いします。



さて、秋は「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」・・・いろいろなことに取り組むのに非常によい季節です。子供たちも様々なことに意欲的に取り組める季節です。中でも今回は「読書の秋」について考えてみたいと思います。

皆さん読書してますか。毎日仕事や家事に追われ、なかなか時間が作れない。という人も多いでしょう。現在は、紙の媒体だけでなく、電子図書でスマホやタブレットなど気軽に読めるものもたくさんあります。すきま時間や夜眠る前の時間などを活用している人もいらっしゃるのではないでしょうか。子供たちは、本が大好きです。これは、どの子供にも言えることで、毎月の絵本の貸し出しやぐるんぱの読み聞かせをみんな楽しみにしています。まだ、字は読めなくても、絵本の雰囲気を味わいその世界に没入することができることが読書の楽しさなのだと思います。本を読むことで、自分が体験できないことや新しい考え方に触れることができる。正しいか正しくないかは自分自身が判断することで、それらの体験ができることが重要なのです。その楽しさは、子供の頃から養われていきます。無理に与えるのではなく、絵本が身近にある環境づくりや読み聞かせの習慣など、できることから始めてみましょう。

『子供のうちに身についた読書習慣は、その子供の生涯に豊かさを与える』

本は、「その著者のフィルターを持ちたい。」と思って読むものです。子供たちは成長とともに自分なりのフィルターを確立していきます。誰に好かれようが、誰に嫌われようがそのようなことには左右されずに、自分で自分の人生を主体的に生きていく・・・。読書はそう思える力も養っていきます。その主体性が、これからの子供たちに必要とされる「主体的に学ぶ力」＝「自立」につながっていきます。また、本は著者が明示され、出版社が責任を持って編集した情報です。それに対して、インターネットは誰が書いたか分からない保障のないものです。（災害の後などに、デマやフリークの情報に振り回される事もあります。）様々な情報が簡単に手に入る時代だからこそ、それらの情報を自分自身で取捨選択して活用していく力も必要です。インターネットに頼るあまり、大学生や社会人になった時に「ウィキペディアの丸写しのレポートやAI任せの文章しか書けない。」ということにならないように、子供たちは自分の考えを言えたり、まとめたりできる力を身につけておくことが必要となってきます。



【9月の行事紹介】

＜運動会練習＞

がんばってます！！









運動会の練習頑張っています！頑張る私たちの姿を見に来てください！

＜第2回なかよしタイム＞9月10日









楽しみにしていた第２回目の「なかよしタイム」を実施しました。今回はみんながお遊戯室に集まっての実施でした。

作ったもので遊びます！

＜こども秋祭り＞9月12日















おやじの会が企画した初めての秋祭り！多くの方々のおかげで無事開催することができました。みんなが秋の楽しい一日を過ごすことができました。ありがとうございました。

「まっとうさん」も飛び入り参加！歌を披露してくれました。

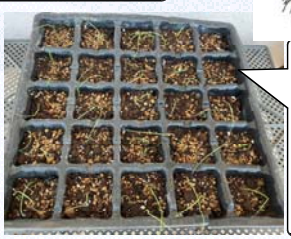
＜玉ねぎの種をまいたよ！＞











元気な芽が出ました！

第７７回鹿児島県図画作品展　特別賞：九州電力賞：りす組　かわもと　あきとさん

第１９回南日本美術展　特選：うさぎ組　たけした　めいさん

入選：りす組　ながその　かんたさん、うさぎ組　きたはら　りつきさん

PTA奉仕作業ありがとうございました！

暑い中ありがとうございました。みなさんのおかげで園内がとてもきれいになりました。





